

# 東京国立博物館 スクールプログラム

TOKYO NATIONAL MUSEUM 2012.4-2013.3

TNM 140th  
ANNIVERSARY



重要文化財「風神雷神図屏風」尾形光琳筆

東京国立博物館スクールプログラムは、  
小学校・中学校・高等学校の児童・生徒のみなさんが  
日本と東洋の伝統文化に触れ、歴史を学び、  
美術を鑑賞するための手助けとなるプログラムです。  
博物館をよく知るためのプログラムも用意しました。  
展示室で「ほんもの」と向き合う体験が、より新鮮に、  
より深いものになるように工夫されています。  
博物館ならではの学習の醍醐味を感じていただけるはずです。  
図工・美術・歴史の授業だけでなく、総合的な学習の時間、  
キャリア学習、修学旅行時のグループ学習、クラブ活動などにも活用してください。



トーハクくん  
(本名: 東 博)  
ユリノキちゃん  
(本名: ノキ ユリ)

東京国立博物館140周年キャラクター

※スクールプログラムの実施は、火～金の平日 10:00～17:00の間(年末年始、ゴールデンウィーク期間を除く)

## 東京国立博物館とは？

- ◆ 明治5年(1872)、日本で最初にできた博物館です。
- ◆ 収蔵品の数は11万件以上、国宝87件、重要文化財629件を含む質・量ともに日本一のコレクションを誇ります(件数は2011年4月現在)。
- ◆ 日本とアジアの絵画、彫刻、工芸、考古遺物などを常時2000～3000件展示しています。日本とアジアの伝統文化に触れることができる博物館です。
- ◆ スクールプログラムに対応する展示館は全部で3つ。本館(日本ギャラリー)、平成館(日本の考古、特別展)、法隆寺宝物館(法隆寺献納宝物)。 東洋館(休館中)は2013年に展示再開予定です。すべてをまわるには一日あっても足りません。見学のポイントを絞ってお出かけください。
- ◆ 展示は特別展(実施していない時期もあります)と、常設の総合文化展があります。スクールプログラムで扱うのは、おもに総合文化展の内容です。
- ◆ 見学には、最低でも60分は必要です。十分時間をとって、ご覧ください。

# レクチャールームでの プログラム

パワーポイントの画像を見ながら話をします

## 博物館の概要と見学当日の見どころ案内

### A はじめての東博

所要時間:30分 参加人数:380名まで

会場:本館20室、平成館大講堂

対象:小学生・中学生・高校生

\* 必要滞在時間 90分以上(自由見学時間を含む)

はじめて東京国立博物館に来館する児童・生徒のためのガイダンスです。博物館の役割と東京国立博物館の歴史、基本的な見学のマナーについて、さらに本館を中心とした構内の展示館と、その日に見られるおすすめの展示作品を紹介します。

- ➡ 展示を見学するためのガイダンスです。展示見学の前に受講してください。ガイダンス終了後、必ず見学時間を1時間以上確保してください。
- ➡ 学校の授業に合わせて、特にとりあげたい時代やジャンル、テーマなどございましたら、お申し出ください。
- ➡ 特別展見学の際には、あわせて特別展のみどころをご紹介することができます。



●重要文化財「土偶」  
通年  
平成館考古展示室



●重要文化財「埴輪 腰かける巫女」  
通年  
平成館考古展示室



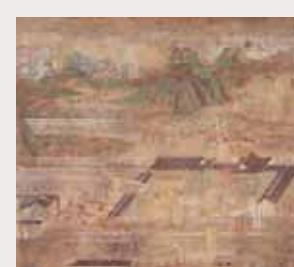
●国宝「銀象嵌銘大刀」  
通年  
平成館考古展示室



●国宝「埴輪 挂甲の武人」  
通年  
平成館考古展示室



●国宝「竜首水瓶」  
通年  
法隆寺宝物館第5室



●国宝「聖徳太子絵伝」  
秦致貞筆  
10月30日～11月25日  
法隆寺宝物館6室



●国宝「秋冬山水図」  
雪舟等楊筆  
2013年1月16日～2月11日  
本館2室



●国宝「元永本古今和歌集」  
2012年9月15日～9月30日  
本館特別2室

# 展示室での作品鑑賞プログラム

## A じっくり見る東博

所要時間:30分

参加人数:1グループ8名まで(複数グループの際はご相談ください)

会場:本館等展示室

対象:小学生・中学生・高校生

\* 必要滞在時間 90分以上(自由見学時間を含む)

展示室ではんものの作品を、博物館研究員と一緒に鑑賞するプログラムです。生徒たちの興味・関心を引き出しながら、ひとつ(あるいは1テーマ)の作品をじっくり見る対話形式のプログラムです。グループで意見交換をし、いろいろな見方を通して、作品鑑賞の枠を広げてください。

好きなジャンルを選ぶことができます。



①考古  
(土偶、銅鐸、埴輪など)



②仏像



③絵画  
(浮世絵・屏風・襖絵・掛幅など)



④工芸  
(陶磁・漆工品など)



## B ワークシートで見学する東博と日本の伝統美術

所要時間:20分(館の概要とワークシートの使い方の説明)

参加人数:380名まで

会場:本館20室、平成館大講堂、小講堂、本館等展示室

対象:小学生・中学生・高校生

\* 必要滞在時間 80分以上  
(ワークシートによる自由見学時間含む)

日本の伝統模様や季節感、昔の道具と現代の道具のつながりなどに注目しながら、ワークシートを使って、各自、展示室をめぐってみましょう。最初にワークシートの使い方と博物館の見学マナーの説明を行います。ワークシートは当館ウェブサイトよりダウンロードしていただくことも可能です。<http://www.tnm.jp/>



●国宝「鏡楓図屏風」  
狩野秀賴筆  
10月30日～11月25日  
本館2室



●「洛中洛外図巻」  
住吉具慶筆  
11月27日～2013年1月14日  
本館8室



●重要文化財「色絵花鳥文大深鉢」伊万里  
5月8日～7月22日、12月18日～2013年3月3日  
本館13室



●国宝「松林図屏風」  
長谷川等伯筆  
2013年1月2日～1月14日  
本館2室

●重要文化財「清水寺縁起絵巻 卷上」  
6月5日～7月16日  
本館3室



●国宝「花下遊楽図屏風」狩野長信筆  
～4月15日、2013年3月19日～4月14日  
本館2室



●国宝「八橋蒔繪螺鈿硯箱」  
尾形光琳作  
スケジュール未定  
展示室未定



●重要文化財「老猿」  
高村光雲作  
8月7日～9月17日  
本館18室

# ワークショップ

体験型のプログラムです

作品の取り扱いやものづくりを通して、日本と東洋の伝統文化に触れる体験型プログラムです。展示室でのほんものとの出会いが、新しい創作の契機となり、ワークショップの体験が展示室での鑑賞を深めることを目指しています。

## A 絵巻の取り扱い体験と日本画材料

所要時間:60分 参加人数:20名まで

会場:平成館小講堂、本館展示室

対象:中学生・高校生

\* 必要滞在時間 120分以上(自由見学時間含む)

日本の伝統的な絵画様式に絵巻がありますが、実際に見たことや、扱った経験のある生徒は多くありません。絵巻を自分で広げ、巻き取りながら見てみると、物語の流れる様が実感できるでしょう。日本文化の伝統様式に触れるとともに、取り扱い講習を通じて文化財を大切に扱うことを学び、文化財保護の意義を理解するためのプログラムです。日本画に使う材料も紹介します。



## B 絵巻作り

所要時間:120分 参加人数 20名まで

会場:平成館小講堂ほか

対象:中学生・高校生

\* 必要滞在時間 180分以上(自由見学時間含む)

4名程度のグループで一つ、絵巻づくりをします。横長の画面構成と物語を展開させるための工夫など、絵巻独自の表現様式を理解すると同時に、共同作業の難しさ、楽しさを学びます。できあがった作品は、当日お持ち帰りいただけます。



## C 伝統模様のお皿づくり

所要時間:150分以上 参加人数:20名まで

会場:平成館小講堂、本館展示室

対象:中学生・高校生

\* 必要滞在時間 210分以上(自由見学時間含む)

展示作品を見学しながら、日本の伝統的な柄や模様をみつけてスケッチし、それを陶芸用のサインペンで、お皿にデザインします。作品鑑賞を通して伝統模様を学び、お皿に表現することでデザイン力を身につけ、古美術に親しむことができます。ご来館の季節に合わせて、春夏秋冬の展示作品に着想した、季節のお皿作りもできます。

夏休み、冬休みなどの部活動にもご利用いただけます。

お皿は焼成後、後日郵送いたします。(着払い宅配便使用)



## D 模様スタンプで鏡と着物をデザインしよう

所要時間:40~60分 参加人数:40名まで

会場:平成館小講堂ほか

対象:小学生・中学生・高校生

\* 必要滞在時間 120分以上  
(自由見学時間含む)



日本の伝統模様のスタンプを使って、鏡や着物型のポストカードをデザインします。模様の意味を知り、配置の仕方を工夫してください。ワークショップを通して、展示室内の鏡や着物、伝統模様に、より興味をもつことができます。

滞在時間が短いグループや、1クラス単位でも、ご参加いただけます。

展示見学の前でも後でも実施できます。

# キャリア学習のための プログラム

## A 博物館の裏側インタビュー

所要時間:30分 参加人数:10名まで

会場:本館20室ほか

対象:小学校高学年・中学生・高校生

\* 必要滞在時間 90分以上(自由見学時間を含む)

博物館の仕事や運営について、博物館研究員に直接インタビューすることができます。

➡ 申し込み後、あらかじめ質問事項をお送りいただきます。

## B 博物館の仕事ガイドンス

所要時間:30分 参加人数:380名まで

会場:本館20室、平成館大講堂

対象:中学生・高校生

\* 必要滞在時間 90分以上(自由見学時間を含む)

博物館の仕事や運営、役割について、展覧会ができるまで、展示室での文化財保護のための工夫についてなどの、通常の展示鑑賞では気がつかない展示の裏側について、画像を使ってお話をします。

➡ 大人数で、博物館の仕事について知りたいとき、最適です。プログラムA(インタビュー)と組み合わせることもできます。



## 職場体験の受け入れも実施しています

各学校におけるキャリア教育の一環として実施される職場体験の受け入れを行っております。

当館の生涯学習ボランティアとともに、お客様案内、館内配布パンフレットの増刷、簡単なアクティビティの運営の補助など、特にお客様サービスに係る部分を体験します。ボランティアとともに活動することによって、異世代間交流もはかれます。

展示室では日本や東洋の古美術や伝統文化を身近に感じることができます。また、さまざまな来館者に接することで、国際性を養い、コミュニケーション力を高めることができます。

生徒の皆さんのキャリア学習にぜひお役立てください。



### 【受け入れのガイドライン】

活動日時 火～金の平日 10:00～17:00  
(ただし、盆、年末・年始期間など、受け入れできない期間もあります)

活動期間:1～4日間

対象:中学生・高校生

受け入れ人数:1日につき4名程度

申込方法:事前申込制。先着順で受け入れをします。

事前学習として、博物館から課題をお出します。

職場体験に関しては、別途、詳細案内と申込書を用意しております。

お問い合わせ、申し込みは、当館博物館教育課ボランティア室まで:

TEL:03-3822-1111(代表)



# スクールプログラムの活用

博物館での見学をより思い出深いものにするために、事前学習をおすすめします。また、博物館で学んだことは、博物館の中だけではなく学校に帰ってからも活用できます。博物館に来たことをきっかけに、子どもたちの世界が広がることが私たちの願いです。

## 学校での事前学習

### ウェブサイトで博物館のことを調べてみよう。

対象教科: 小・中総合的な学習、中学技術

博物館に行けば何を見られるの？ 収蔵品はいくつあるの？ 博物館の歴史は？ こういったことは、全て東博ホームページに載っています。たくさんの作品画像も見られます。「教育」のコンテンツでは、先生方や児童・生徒向けの情報が掲載されています。また、TOPページのカレンダーで見学の予定日をクリックすれば、その日鑑賞できる展示作品のリストが見られます。

東京国立博物館ウェブサイトURL <http://www.tnm.jp/>

#### \*ウェブサイト活用方法

- 名品ギャラリー → 館蔵品のデータを地域・時代・世紀・分野など様々な条件から検索できます。
- おすすめコースガイド → 入門コースから分野別のコースまでおすすめの観覧コースを紹介しています。
- 館の歴史 → 東京国立博物館の歴史が興味深い図版や写真とともに紹介されています。
- 館の概要 → 東博の組織図や収蔵品、入場者数のデータが見られます。

※総合文化展は頻繁に展示替えを行っています。目的の作品がいつも見られるとは限りませんのでご注意ください。

### 見学のマナーを確認しよう

- ①ゆっくり、静かに ②さわらない ③メモはえんぴつで
- ④写真のルールを確認しよう ⑤飲食は決められたところで

公共施設でのマナーを学ぶ格好の機会です。当館ウェブサイトの「教育」コンテンツの児童・生徒向けのコーナーにも掲載されているので、事前に確認をしておきましょう。

## 博物館での学習

### 日本美術を見てみよう

対象教科: 小6社会、中学社会、中学美術、高校日本史B、  
高校美術・工芸・書道

東京国立博物館には、縄文時代から近代までの、さまざまな分野の文化財が展示されています。これらを鑑賞することによって、日本の美術・文化・伝統に対する理解が深まり、それらを後世に伝えていくことの重要性について考えることができます。

### 日本とアジアを比べてみよう

対象教科: 小6社会・中学美術・高校世界史B、  
高校美術・工芸・書道

本館の日本美術と表慶館などのアジア美術を比較してみてみましょう。仏像の姿かたちは地域によって異なること、あるいは影響関係があることなどに気づくでしょう。異文化交流の軌跡をたどることで、日本のみならず諸外国の文化や伝統を尊重する態度が養われ、国際理解にもつながります。

### お気に入りの作品について語ろう

対象教科: 小・中・高国語、小学図工、中学美術、  
高校美術・工芸・書道

作品のどこが気に入ったのか、もしもそれが自分のものになったなら、どこに飾るか、どんなふうに使うかなど友人に語ることで、鑑賞を深めると同時に想像力を育み、豊かな表現力を身につけることができます。

## 学校での事後学習

### 作品がどのように作られたのか調べてみよう

対象教科: 小3-6図工、小6社会・国語、中学社会・美術

絵巻ってどんなしきみなの？ 仏像はどうやって作るの？ 漆の材料ってなに？ など、作品を見ていると疑問に思うこともできます。作品の材料や技法などについて調べ、学校でも実際に制作してみましょう。

#### 例えば

- ◆博物館に行った思い出を、絵巻風に描いてみる。(指導要領との関わり: 美術文化の継承と創造、文章の組み立て)
- ◆伎楽面、根付などを作る。(指導要領との関わり: 立体的な表現、日本文化の国際的な要素の理解、町人文化の理解)

### 展覧会を作ってみよう

対象教科: 小3-6図工、国語、社会、生活科、小・中総合的な学習

児童・生徒たちが学芸員となって、図工・美術の時間に制作した作品の展覧会を企画します。博物館の展示を参考に展示全体のテーマ、会場構成、展示デザインを考えたり、作家(友だち)へのインタビューを元に文章を組み立てたり(作品解説)、クラスの前で作品解説のスピーチを行ってもよいでしょう。授業で行うほか、校内展や文化祭などでも活用できます。また、自分たちで実際に展示を行うことによって公共施設を支える人々の仕事を理解することにも繋がります。

### 博物館の思い出をカルタにしてみよう

対象教科: 小・中・高国語、小学図工、中学美術、  
高校美術・工芸・書道、小・中総合的な学習

博物館で見たこと、聞いたこと、考えたことをカルタにしてみましょう。ただ文章を作るだけでなく、五七五調で作れば、日本の伝統的な国語表現を体験でき言語感覚も豊かになります。あとは博物館で見た景色や気に入った作品を描けば、自分たちだけの「東博カルタ」の完成です。カルタで遊びながら、友達の作品をよく見てみましょう。

※博物館に行く前に生徒それぞれに字を割り当てておくと、よりスマートに進みます

## よくある質問

Q スクールプログラムの参加費はいくらですか？

A 原則として、無料です。

Q スクールプログラムの受講に引率は必要ですか？

A プログラム実施中は講師および補助のスタッフが付きますので、特に心配のない場合は先生がついていなくても大丈夫です。ただしプログラム前・終了後の責任は負いかねますので、ご了承ください。

Q スクールプログラムは申込制ですか？

A 必ず事前にお申し込みください。受付は、先着順で行っています。

Q 複数のプログラムを受けることができますか？

A 十分な見学時間を持つていただきたいことなどから、1度の訪問につき、1つをおすすめいたします。複数のプログラムをご希望の場合は、ご相談ください。

Q プログラムの実施内容や見学について相談にのってもらえますか？

A 提示されたコース以外にご希望がある場合、下見や事前の打ち合わせをしたい場合、その他スクールプログラムに関する質問・相談は、東京国立博物館教育普及室(TEL:03-3822-1111・代表/Eメール:edu@tnm.jp)で受け付けています。

Q 館内で食事はとれますか？

A お弁当の場合、平成館ラウンジ(申込不要)をご利用いただけます。

レストランの場合は、東洋館1階「ホテルオークラレストラン ゆりの木」か、法隆寺宝物館1階「ホテルオークラ ガーデンテラス」にて、どることができます(予算:1000円~)。ただし、特別展開催期間中などは混雑が予想されます。

Q 教科書に載っている作品はいつも見られますか？

A 総合文化展は頻繁に展示替えを行っています。目的の作品がいつも見

られるとは限りません。あらかじめ東京国立博物館ウェブサイトで調べてからご来館ください。

Q 障がいをもつ生徒が学級にいますが、どんな対応をしてもらえますか？

A 車椅子の貸出し、点訳版パンフレットの配布を行っています(当館ウェブサイト「バリアフリー情報」参照)。また、視覚に障がいを持つ生徒を対象とした「盲学校のためのスクールプログラム」もご用意しています。弱視学級でのご利用も可能です。事前にご相談ください。

Q 下見に行くことはできますか？

A 教育活動で先生が下見されるための入館は無料です(特別展を除く)。来館時に正門でお申し出ください。また、スタッフとの事前打ち合わせをご希望の場合は、あらかじめ教育普及室までご連絡下さい。

Q 観覧料金は？

A 小・中・高校生および引率する教員の入館は無料です(特別展を除く)。特別展については、各特別展ごとに別途料金が定められていますので、当館ウェブサイトなどでご確認ください。

Q 自由見学は、予約が必要ですか？

A 自由見学に際して特に予約は必要ありませんが、団体での見学の場合、会場内での混雑を避けるために、来館時間についてアドバイスさせていただくこともありますので、あらかじめ当館総務課までご相談ください。スクールプログラムを受講される場合は、予約が必要です。かならず教育普及室でご連絡ください。

Q 教員向けの情報はありますか？

A 学校の先生方に向けた研修会、ダウンロードできるワークシートなど、ご用意しています。詳細は、ウェブサイト <http://www.tnm.jp/>をご覧ください。

## スクールプログラム 受講までの手続き

### 1 電話連絡 相談



学校名、来館希望日、時間、人数、学習内容、連絡先、担当の先生などをお知らせください。博物館をどのように利用したいか、お聞かせください。おすすめのスクールプログラムのご相談にのります。また、すでにお決まりの場合は、実施できるかどうか、スケジュールの確認をします。

### 2 書類の提出



ご来館の1週間前までに、スクールプログラム申込書をFAXしてください。(巻末の書式をコピーしてご利用ください)

### 3 博物館から確認の連絡



教育普及室より、当日の入館方法、集合場所などの確認のご連絡をいたします。学校での学習内容、研究員への質問や、生徒の興味などを聞かせていただくと、当日、より細かな対応ができます。

### 4 「参加証」受け取り



スクールプログラムの参加証をFAXでお送りします。集合場所、集合時間などが書いてありますので、ご確認の上、当日お持ちください。

### 5 当日



当日の欠席、人数変更、到着の遅延などありましたら、お知らせください。ご来館の際、参加証をお持ちください。

### 6 後日

スクールプログラム受講後のご意見、ご感想などがありましたら、ぜひお聞かせください。今後のプログラムの参考にさせていただきます。

#### [開館時間]

9:30～17:00(入館は16:30まで)

2012年3月23日(金)～12月21日(金)までの特別展開催期間中の毎週金曜日は20:00まで開館します。

2012年3月20日(火・祝)～9月30日(日)までの土曜、日曜、祝日、振替休日は18:00まで開館します。

※入館は閉館の30分前まで ※予告なく変更されることがあります。

#### [休館日]

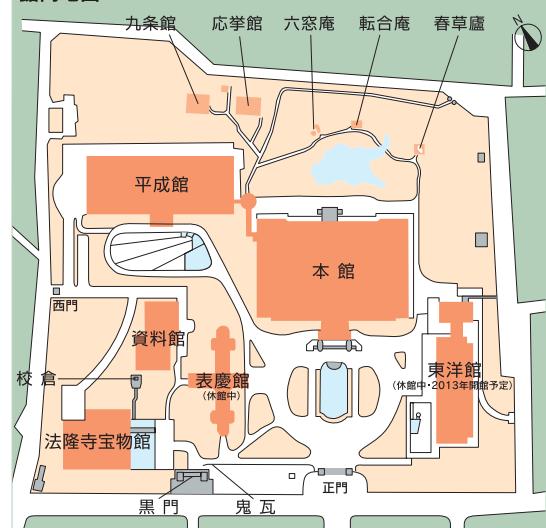
月曜日(ただし月曜日が祝日または振替休日の場合は開館し、翌火曜日に休館)、年末年始(2012年12月25日～2013年1月1日)。ただし、2012年5月1日、8月13日は開館。

※2012年6月19日(火)は設備保守点検のため臨時休館いたします ※予告なく変更されることがあります。

#### [観覧料金]

東京国立博物館の最高の収蔵品を中心に構成された総合文化展を、**高校生以下は無料**でご覧いただけます。また、**学校の教育活動で来館された場合、先生方も無料**となります。学校での来館のための**先生による下見も無料**です(予約不要)。下見当日、正門でお申し出ください。(ただし、特別展に関しては別途料金が必要となります)

館内地図



周辺地図



#### お問い合わせ

● 東京国立博物館教育普及室 03-3822-1111(代表)またはe-mail:[edu@tnm.jp](mailto:edu@tnm.jp)

# 東博スクールプログラム申込書



東京国立博物館 教育普及室 宛

平成 年 月 日

TEL:03-3822-1111(代表) FAX:03-3822-3010

来館日時	月	日	曜日	入館時間	時	分						
※火～金の平日、10:00～17:00の間				プログラム開始時間	時	分						
				退館時間	時	分						
(ふりがな) 学校名				学年	年							
(ふりがな) 先生の名前				先生								
(ふりがな) 代表生徒名 *引率がない場合必須												
学校の住所 (〒 一 )												
電話番号				FAX番号								
人数:	生徒	人	+	引率教員	人	+	その他	人	=	合計	人	
(保護者・添乗員、入館有料)												
スクールプログラム参加の目的	1. 遠足・社会科見学			2. 修学旅行			3. 各教科の学習(科目: )					
	4. 総合的な学習の時間			4. クラブ活動( 部)			5. その他( )					
スクールプログラムコース(全12コースの中からひとつを選び、○をつけてください)												
<b>1 レクチャールームでのプログラム</b>												
A はじめての東博	B はじめての仏像											
C はじめての浮世絵	D はじめての考古											
<b>2 展示室での作品鑑賞プログラム</b>												
A じっくり見る東博(下記から希望のジャンルを選んでください)	B ワークシートで見学する東博と日本の伝統美術											
①考古 ②仏像 ③絵画 ④工芸												
<b>3 ワークショップ(所要時間)</b>												
A 絵巻の取り扱い体験と日本画材料(60分)	B 絵巻作り(120分)											
C 伝統模様のお皿づくり(150分以上)	D 模様スタンプで鏡と着物をデザインしよう(40~60分)											
<b>4 キャリア学習のためのプログラム</b>												
A 博物館の裏側インタビュー	B 博物館の仕事ガイダンス											
ご希望:	<input type="checkbox"/> 特別展の見学 <input type="checkbox"/> 事前打ち合わせ( 月 日 時 分～)											
												* 下見のみの場合お申し込みの必要はありません。 正門で手続きの上、ご入館ください。

\* 太枠内のみご記入をお願いします。

\* 各プログラムに参加されるための必要滞在時間を満たしているかご確認ください。

\* 電話で予約状況を確認したうえで、ご来館の1週間前までに、FAXにてお申し込みください。



東京国立博物館

TEL:03-3822-1111(代表) FAX:03-3822-3010  
e-mail edu@tnm.jp URL http://www.tnm.jp